

2019年4月10日

各位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー  
 代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文  
 (コード番号 6255)  
 問合せ先責任者 専務取締役 廣澤 一夫  
 (TEL 03-6240-1206)

## 第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年10月9日に公表いたしました2019年8月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2018年10月9日に公表した2019年8月期通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

2019年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年9月1日～2019年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,839	△17	△46	△51	△2.35
実績値(B)	2,039	240	240	228	10.37
増減額(B-A)	200	257	286	279	-
増減率(%)	10.9	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年8月期第2四半期)	3,409	411	380	346	15.72

2019年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異 (2018年9月1日～2019年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,829	△17	△46	△48	△2.21
実績値(B)	2,008	230	228	217	9.85
増減額(B-A)	179	247	274	265	-
増減率(%)	9.8	-	-	-	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年8月期第2四半期)	3,404	527	369	334	15.18

#### 業績予想と実績値との差異の理由

装置関連事業におきまして、太陽電池製造装置の部品販売が当初の予想を上回って増加した結果、売上高は前回発表予想を上回る結果となりました。利益面では、前回発表予想では赤字となる見込みでしたが、太陽電池製造装置の部品販売が当初の予想を上回ったことによる増益や原価低減により、前回発表予想を大幅に上回って黒字となりました。

なお、連結業績及び個別業績とも同一の理由によるものであります。

## 2. 通期業績予想の修正

2019年8月期通期連結業績予想数値の修正（2018年9月1日～2019年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,002	534	491	428	19.43
今回修正予想(B)	6,762	621	592	542	24.59
増減額(B-A)	△240	87	101	114	-
増減率(%)	△3.4	16.3	20.6	26.6	-
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	6,444	506	458	410	18.62

2019年8月期通期個別業績予想数値の修正（2018年9月1日～2019年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,986	521	478	422	19.14
今回修正予想(B)	6,724	597	567	521	23.64
増減額(B-A)	△262	76	89	99	-
増減率(%)	△3.8	14.6	18.6	23.5	-
(ご参考)前期実績 (平成28年8月期)	6,433	478	435	392	17.81

### 修正の理由

売上高につきましては、装置関連事業の自動化・省力化装置における顧客の大型プロジェクトの進行に時間を要しており、前回発表予想から若干の売上減となる見込みです。

利益面では、減収に伴う利益減はあるものの、太陽電池製造装置関連の販売が引き続き好調に推移して利益をカバーすることから、前回発表予想を上回る見込みです。

なお、連結業績及び個別業績予想とも同一の理由によるものであります。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上